

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	永長地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
愛媛県 愛媛県西予市	380008	2	H24～H26	H24～H25
活性化計画の区域				
永長地区活性化計画は旧宇和町永長地区の全域146haを計画区域とし、農地面積は67haで45.9%を占め、地域の営農形態は水稻を中心とした、野菜栽培の経営が盛んな農業地域である。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	38.3ha	38.3ha	100%	

(コメント)

事業が予定どおり完成し、農業生産基盤の向上が図られ、目標が達成された。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農業用道路	農業用道路 L = 2, 074 m		西予市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
西予市	平成24年度	平成25年度	平成26年4月1日
事業の効果			
農道舗装を整備する事により、荷痛み軽減による野菜等の農作物の品質が向上することにより、農業従事者の安住化を図ることができた。			

3 総合評価

(コメント)

農道舗装を整備する事により、荷痛み軽減による野菜等の農作物の品質が向上し、多角経営を図る事ができた。その結果、農業経営の安定や断続的な営農が可能となり、認定農業者の増加(H23年4人→H26年7人)へと繋がり、農業従事者の安住化を図られたと言える。

4 第三者の意見

(コメント)

本事業（農道舗装）の実施により、農作物（野菜等）の荷痛み防止・砂塵の飛散防止に繋がり、品質の向上が図られ、農作物の安定供給に繋がった。
認定農業者が増加した事により、農業従事者の安住化も図られた。
このことから、本計画の達成に繋がっていると見える。